

年間指導計画 及び評価規準

【知技】…知識技能 【思判】…思考判断 【主体】…主体的に学ぶ

学期	月	単元名	評価規準	
1 学期	4	登場人物の気持ちをたしかめ、そうぞうしたことをつたえ合おう	【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。 文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。 【思判】登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 【主体】進んで、登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉え、学習課題に沿って想像したことを伝え合おうとしている。	
		言葉を調べよう	【知技】辞書の使い方を理解し使っている。 【主体】進んで辞書の使い方を理解し、学習課題に沿って国語辞典を使おうとしている。	
	5	知りたいことを考えながら聞き、しつもんしよう	【知技】相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。 【思判】目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え自分の考えをもっている。 【主体】粘り強く話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、学習の見通しをもって話したり、質問したりしようとしている。	
		まとまりをとらえて読み、かんそうを話そう	【知技】段落の役割について理解している。 全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 【思判】段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。 目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。 【主体】進んで段落相互の関係に着目しながら内容を捉え、学習課題に沿って説明する文章を読んだ感想を伝え合おうとしている。	
	6	相手に分かりやすいように、あんないの手紙を書こう	【知技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。 丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。 【思判】間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。 【主体】粘り強く、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整え、学習の見通しをもって行事を案内する手紙を書こうとしている。	
		登場人物のへんかに気をつけて読み、すきな場面について話し合おう	【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。 【思判】登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 【主体】登場人物の気持ちの変化について、進んで場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って物語の好きな場面について話し合おうとしている。	
		情報をいんようしよう	【知技】引用のしかたや出典の示し方を理解し使っている。 【思判】由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 【主体】示し方を理解し使い、学習課題に沿って本などから調べたことを引用して文章を書こうとしている。	
	7	つたえたいことをはっきりさせて、ほうこくする文章を書こう	【知技】改行のしかたを理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。 段落の役割について理解している。 【思判】相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 【主体】進んで相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって調べたことを報告する文章を書こうとしている。	
		本でいろいろなことを知ろう	【知技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。 【思判】文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。 【主体】進んで幅広く読書に親しみ、学習課題に沿って本で知ったことをクイズにしようとしている。	
	2 学期	9	考えと理由について考えよう	【知技】考えとそれを支える理由や事例について理解している。 【思判】目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりしている。 【主体】目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。
			書くことを考えよう	【知技】比較や分類のしかたを理解し使っている。 【思判】相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 【主体】粘り強く集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にし、学習課題に沿って夏休みの思い出を書こうとしている。
		ローマ字を書こう	【知技】日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。 【主体】進んでローマ字で表記されたものを読み、学習課題に沿ってローマ字で書いたり入力したりしようとしている。	
10		場面をくらべながら読み、感想を書こう	【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。 【思判】登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。 【主体】文章を読んで理解したことに基いて、進んで感想や考えをもち、学習課題に沿って物語を読んだ感想をまとめようとしている。	
		修飾語を使って書こう	【知技】言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。 主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係について理解している。 【主体】粘り強く修飾と被修飾との関係について理解し、学習課題に沿って修飾語を使って文を書こうとしている。	
11	進行にそって、はんで話し合おう	【知技】比較や分類のしかたを理解し使っている。 【思判】目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。 【主体】粘り強く司会などの役割を果たしながら話し合い、学習の見通しをもって考えをまとめようとしている。		
	れいの書かれ方に気をつけて読み、それをいかして書こう	【知技】比較や分類のしかた、辞書の使い方を理解し使っている。 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。 【思判】書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。 【主体】目的を意識して、粘り強く中心となる語や文を見つけたら、それらを明確にして文章の構成を考えたりし、学習の見通しをもって筆者の説明の工夫をいかした文章を書こうとしている。		
	登場人物の行動や気持ちをとらえて、えらんだ民話をしようかいしよう	【知技】引用のしかたを理解し使っている。 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。 【思判】登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもっている。		

3 学 期	12		【主体】登場人物の行動や気持ちなどについて、積極的に叙述を基に捉え、学習課題に沿って民話や昔話を紹介しようとしている。
		しょうかいする文章を書き、感想をつたえ合おう	【知技】考えとそれを支える理由について理解している。
			【思判】書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。
	1	詩のくふうを楽しもう	【主体】積極的に文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけ、学習課題に沿って町のよさを紹介する文章を書こうとしている。
			【知技】文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(
			【思判】文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。
		絵を使って物語の組み立てを考えよう	【主体】進んで文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読し、学習課題に沿って詩を創作しようとしている。
			【知技】段落の役割について理解している。
			【思判】書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。
		読んで考えたことをつたえ合おう	【主体】書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考えることに粘り強く取り組み、学習課題に沿って物語の流れを書こうとしている。
			【知技】言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。 指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。
			【思判】文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。
言葉について考えよう		【主体】進んで文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習課題に沿って、考えたことを伝え合おうとしている。	
		【知技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。	
	【思判】自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。		
2	書き表し方をくふうして、物語を書こう	【主体】言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに積極的に気づき、学習の見通しをもって相手に伝わる文章を書こうとしている。	
		【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。	
		【思判】書き表し方を工夫している。	
つたえたいことを、理由をあげて話そう	【主体】進んで様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにし、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。		
	【知技】相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心などの情報と情報との関係について理解している。		
	【思判】相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。 話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。		
3	登場人物について考えたことを、つたえ合おう	【主体】進んで話の中心が明確になるように話の構成を考え、学習課題に沿ってお気に入りの場所を発表しようとしている。	
		【知技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	
		【思判】登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。	
三年生をふり返って	【主体】登場人物の気持ちの変化や性格について、場面の移り変わり結び付けて具体的に粘り強く想像し、学習課題に沿って考えたことをまとめ、伝え合おうとしている。		
	【知技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。		
		【思判】経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。	
		【主体】進んで経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にし、学習課題に沿って1年間の振り返りを書こうとしている。	